年末の詐欺被害防げ

大垣署 4行員に一日警官委嘱



一日警察官に委嘱された山田彩夏さん、伊神奈々絵さん、岩崎久美子さん、天野里奈さん（右から）＝大垣署

金融機関などを対象にした大垣署の年末特別警戒の出発式が1日、同署で行われ、管内の金融機関に勤務する女性4人が一日警察官の委嘱を受けた。

年末年始地域安全運動（11日～1月5日）の一環。委嘱を受けたのは、大垣共立銀行本店営業部の天野里奈さん(23)、ゆうちょ銀行大垣店の伊神奈々絵さん(28)、十六銀行大垣支店の山田彩夏さん(21)、大垣信用金庫本店営業部の岩崎久美子さん(20)。

4人はそれぞれが勤務する4店舗を回り、職員に自主警戒を促したほか、来店客にチラシを配って振り込め詐欺被害の防止などを呼び掛けた。

服部勝人署長から委嘱状を受け、代表して天野さんが「事件、事故が発生しないよう、一生懸命啓発活動を行いたい」と話した。

続いて出発式では、服部署長が「県内の強盗事件は、10月末現在27件で昨年の45件に比べて18件少ない。強盗事件は減少しているが、振り込め詐欺被害が多く、1カ月間、被害防止のために全力で頑張ってほしい」と訓示。大安地区金融機関防犯協議会長の大橋良彦大垣共立銀行常務もあいさつし、激励を受けた署員は早速パトロールに出発した。

（佐名妙予）

無断複製・転載を禁じます